

第6回FD／SD研修実績報告
COC+事業に係る協働開発科目企画研修会（FD）報告

1. 研修会：COC+事業に係る協働開発科目企画研修会

2. 期日 平成29年3月9日（木）13：00～3月10日（金）12：00（1泊2日）

3. 会場 日本文理大学 湯布院研修所
住所：〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上3366-4

4. 対象者 COC+事業の連携校及び連携企業等関係者

5. 研修趣旨

本研修会は、他大学の学生同士の集合教育の重要性等を含め、本当に必要な科目を協働してモデル的にプロジェクト科目の開発を行うため、COC+事業の連携校及び連携企業間教育プログラム開発ワーキングメンバーの企画したプログラム（案）を検討するための研修会であった。

6. 研修内容

(1) 研修1 テーマ：大分を創る人材像とカリキュラム・ルーブリックについて

大分大学COC+推進機構中川忠宣特任教授から、大分大学で作成した「育成する人材像」を基にした「カリキュラム・ルーブリック」の説明があり、各大学での取組に活用することや、協働開発科目に生かすこととした。

(2) 研修2 テーマ：大分大学で検討しているアクティブ・ラーニングについて

大分大学 高等教育開発センター鈴木雄清准教授から大分大学で作成した「アクティブ・ラーニング」の説明があり、各大学での取組に活用することや、協働開発科目に生かすこととした。

(3) 研修3 テーマ：単位互換の推進と修了認定の在り方について

大分大学COC+推進機構中川忠宣特任教授から、単位互換等をとおした「大分を創る人材を育成する科目」の履修を促進するための「修了証」制度の提案があったが、大分大学の「匠」認証制度との関連があるので、「修了証」制度を作るという方向で、協議は今後の継続とすることとなった。また、鈴木雄清准教授から、単位互換の有効的な推進方策の提案があり、パンフレットの作成と活用を進めることとした。

(4) 研修4 テーマ：協働開発科目の開発について

①提案者 別府大学 教授 西村靖史

科目名「若者による地域開発力育成ワークショップ（仮称）」

提案者 日本文理大学 人間力育成センター長 吉村充功

科目名「大分の地域ブランド体験（仮称）」

②協働開発科目の開発

開発科目の提案を基にして、2つのグループで科目の企画書を作成した。

※企画書は別途